

講演会型＋子育てサロン型＋体験活動参加型＋在宅取組型(小学校)

学校名等	安八町立 牧 小学校
実施日時	H28.5/17・6/6・10/12・10/13～10/19・12/7・H29.1/17
会場	牧 小学校
参加人数	9名
学習課題(分野)	親子の関わり方、ふれあい・スポーツ
運営者の願い	『笑顔の輪を広げよう』をテーマに活動を計画した。今年度の学級生は9名と少ないこともあり、親子の絆をより深められるような内容になればと考え、親子で給食会や前年度の引き継ぎで親子ふれあい活動後の1週間を在宅取組としてふれあい週間を設けた。活動を通じて笑顔が見られれば良い。



座談会は「他の家庭でどのように行っているか？」を聞くことができる良い場となりました。
良いところは我が家に取り入れて、実践してもらえました。

学 習 の 内 容

< 講演会型 > 校長先生の講話

『愛情いっぱい、笑顔いっぱい子どもたちを育てましょう』

心を育てましょう → 子どもへスキップを取りながら愛情を注ぎ、認め合い笑顔いっぱいに

学習習慣を育てましょう → 学習は日々の積み重ねを大切に

体の生活リズムを整えましょう → 朝ご飯1日の始まり身体・精神的に強くするためにも欠かさずに

講演会後にお隣の方と交流

① じっくり話を聞いて、その日のがんばりを大いに認めあげてください。 → 毎日、ハグしている。

困っていることは？

質問 — ひらがなの宿題があり、マス目より小さく書いている。字を消して大きく書き直すように言うと子どもが怒ります。

意見 — 1文字だけ消して、1文字だけきれいに書かせる。

< 子育てサロン >

前回、校長先生の講演後の意見でひらがなの1文字消しを行ったら、子どもがきれいに書くようになり、良かった。

自宅での悩み？

ナフキンをくちゃくちゃに入れてくる。 → 入れ方を教えたなら、きれいにたたむようになった。

明日の準備は？

親が予定を読みあげ、子どもが入れる。プリントを見やすい場所に貼ってある。

本読みは？

親が読む。子どもが読み、親が聞く。

などと、色々な意見が聞けて、その家庭で工夫していることが分かった。

< 体験活動参加型 > 親子でスポーツ

じゃんけんの歴史をクイズ方式で学び、後だしじゃんけん・じゃんけんれっしゃ・じゃんけんゲームなどお団子づくり — みんな円になり、鬼になった人がお団子を配り、鬼に見られないようにお団子を食べて、見られたら鬼になる。

親子で体のふれあいが持てて、楽しい時間を過ごすことができました。

< 在宅取組型 > 親子ふれあい週間

1週間、だれとなにを行ったのか報告してもらおう。ふれあい内容は親子スポーツで教えてもらった運動やハイタッチなど

< 閉会 >

校長先生からのお話 ①じっくり話を聞いて、その日のがんばりを大いに認めてあげてください。

② 学校の宿題をしたり、時間割を合わせたりするとき、いっしょに行ってあげてください。

③ 早寝・早起き・朝ご飯(できれば朝うんち)の習慣づくりをしてください。

3つの事を心にとめて見守りしてください。

< アンケートより >

・ 親子での活動は笑顔あふれる時間となりました。どんな形にしる、子どもと関わる時間は大切だと改めて勉強しました。

・ 子どもとふれあう良い機会となり、子どもも私もとても楽しい時間を過ごすことができました。これからは家で、一緒に体を動かし、料理をして子どもとたくさん触れ合っていきたいです。



親子ふれあい週間では毎日、少しずつふれあうことで笑顔が増えてコミュニケーションをとる機会ができました。
何気ない遊びでも子どもの笑顔があり、ふれあいは笑顔につながることを感じました。

